

令和7年度 第1回 瑞穂市健康増進計画策定委員会 議事録

日時：令和7年11月17日（月）

午後1時30分から

場所：ココロかさなるCCNセンター
5階 第4会議室

- ・ 開会
- ・ 委嘱状交付
- ・ 市長挨拶
- ・ 委員自己紹介
- ・ 会長及び副会長の選出

○議題

1. 計画策定の趣旨及びスケジュールについて
 - ・ 計画策定の趣旨について（資料1）
 - ・ 瑞穂市健康増進計画策定委員会スケジュール（資料2）
2. アンケート調査について
3. その他
第2回開催日

- ・ 閉会

<議事録>

議題1. 計画策定の趣旨及びスケジュールについて
事務局：資料1・資料2について説明（質疑応答なし）

議題2. アンケート調査について
事務局：アンケート調査について説明

質疑応答

- 丹羽委員：問6（16歳以上）について
 - ・ 通学は含まないのか。
 - ・ 通勤・通学をしていない主婦や無職の方の選択肢がないと感じる。

問51（16歳以上）について

・選択肢の「4.同居喫煙者なし」は理解しづらいと感じるので、「家族に喫煙者はいない」といった平易な言葉にしてはどうか。

■事務局：問6（16歳以上）について

・働く人たちの運動習慣を聞きたいので、回答する人を制限するのか、全ての方として設問を変えるのかは事務局内で検討する。

問51（16歳以上）について

・「4.同居喫煙者なし」については、わかりやすいものに変更する。

■棚瀬委員：・アンケートの配布枚数の比率は年齢層や学年を考慮して配布されるか。

・マイナンバー保険証は救命の際に役立つが、その促進のために設問内容に入れられないか。

・セルフメディケーションを意識づけるために、その内容をアンケートなどで発信してはどうか。

・小中学校でオーバードーズが問題になっているので、オーバードーズについて調査で聞いてその状況が見える化してはどうか。

■事務局：・地区と年齢についてはある程度精査をして抽出をかけていこうと思っているため、同じぐらいの比率で調査の対象になる予定である。

・オーバードーズについては、現行計画でも思春期のライフステージの部分で薬物についての正しい知識を普及させるとあるため、検討していきたい。

■新井委員：問5、問6、問7（16歳以上）について

・問5から問7が関連していないのではないかと感じる。

・勤務をしている方が中心になっており、問7も通勤と書いてあるが「日々の生活の中で」「無職の方でも」といった言葉がないと答えにくい人もいるのではないか。

問9、問10（16歳以上）について

・問9で「非常に健康である」が選択肢の先頭にきているが、問10では「とても不幸」が先頭にきていることに違和感がある。子どもの調査でも同じものがあるが、子どもがどう思うのか気になる。

問3（小中学生）について

・16歳以上の調査の選択肢は「男性」「女性」となっているのですが、小中学生の調査も「男子」「女子」や「男の子」「女の子」といった優しい言葉にしてはどうか。

■事務局：問9、問10（16歳以上）、問3（小中学生）について

・ご指摘があったところは改善させていただきたい。

問5、問6、問7（16歳以上）について

・通勤・通学が日々の運動量にどれぐらいつながっているのかを評価の値として測りたいと考えているが、先ほども指摘があったように通勤や通学が強調されてしまっていると感じるため検討をさせていただきたい。

■名和委員：問34（16歳以上）について

・選択肢の「3.言葉は知っているが、意味はあまり知らない」と「4.言葉は聞いたことがあるが、意味は知らない」はあまり違いがないと感じるので、1つにまとめてしまっても良いのではないかと。

問6、問7（16歳以上）について

・問6は「通勤時」とあるが、問7は「通勤（通学）」となっている。ここは違いを出すためにこのようにしているのか。

問11（16歳以上）について

・「8.寝たきりや認知症でない」は、高齢者の病気は認知症だけではなく認知症でも健康に暮らしている方もいるため、不健康期間のことについて聞くのであれば「介護が必要でない」といった表現が適切ではないかと。

問19（小中学生）について

・社会福祉協議会でもわくわくスクールや子ども食堂をやっており相談窓口となっているため、選択肢に入れていただきたい。

問16（小中学生）について

・ストレスに関することを聞きたいのかと感じたが、お手伝いについて質問されている目的を知りたい。

■事務局：問6、問7（16歳以上）について

- ・他の委員からも指摘があったが問6は通勤に限定されているため、問7のように「通勤（通学）」とさせていただきたい。

問11（16歳以上）について

- ・「8.寝たきりや認知症でない」を「介護が必要でない」といった言葉にするか検討をさせていただきたい。

問16（小中学生）について

- ・学童期・思春期の取り組みとして「家族と過ごす時間を増やす」といった位置づけがあるため、その中の1つのアンケートだと思っている。他にも「家族と過ごす時間を増やす」ことについて聞くことができる質問があれば協議をしたいと考えている。

問34（16歳以上）について

- ・段階を踏んだ聞き方になっており少しわかりづらさはあるが、前回も同じような評価指標になっているためそのままにさせていただきたい。

問19（小中学生）について

- ・社会福祉協議会で行っているわくわくスクール、子ども食堂についても、数字の見える化ができるかもしれないので入れさせていただきたい。

■濱委員：問14（小中学生）について

- ・学校で同じような調査を行った際、平日と休日で時間に差が出た。睡眠時間については平日と休日に分けて聞いているので、スマートフォンなどについても分けて聞くことを検討してはどうか。
- ・現行計画の策定時から変わり、現在は学校でもタブレットを使用しているため、帰宅後や家庭での電子機器の利用について聞くのであれば「学校以外で」と設問に入れる必要があると思う。

■事務局：問14（小中学生）について

- ・睡眠時間と電子機器を使う時間は関係してくると思っている。また、指摘の通り平日と休日・祝日で利用時間に差があると思うので、検討させていただきたい。

■棚瀬委員：・委員会の場だけで良いので、アンケートの集計後にクロス集計の結果がどのように計画策定に関係してくるのか説明してほしい。
・回収率を上げるため、「このアンケートは 10 分ぐらいでできます」といった文言をいれる、アンケートの途中で「あと何分」「あと半分」といった文言を入れて休憩タイムを作り、最後まで回答をしやすい工夫をしてはどうか。

■副会長：・クロス集計の際のかけ合わせが重要。
・アンケートは量的にいかにかかるといふ根拠がとても大事。
・先行調査でわかっているデータと今回の調査でわかったデータをクロスすることによって地域特性が出てくるかと思う。分析のために先生方のアドバイスをいただきたい。

■中林委員：・今回貰った調査票に「案」の文字が載っていない。確定した調査票と調査票案の違いがわかった方が安心できるのではないかと。

■事務局：・本来であれば調査票に「案」を付けるべきであった。わかりにくくて申し訳ない。

■林委員：問 25、問 26（16 歳以上）について
・「1 皿は、小鉢 1 個分（約 70g）と考えてください」とあるが、フェスタで市民の方と話をしていると 1 日分の野菜の分量を誤解している方が多いので、設問のどこかに 1 人分といった文面を入れられないか。

問 27（16 歳以上）について
・1 日の塩分は 1 人 6g なので、こちらについてもその数字を入れていただきたい。

■高田委員：問 25、問 26（16 歳以上）について
・この設問は生でも火が通っている野菜でも目安としてわかりやすいように小鉢という単位で聞いている。
・わかりづらいところは工夫していただきたいが、前回のアンケートでも同じように聞いているので、内容としてはそのままが良いと思う。

問 27（16 歳以上）について
・塩分は男性が 7.5g、女性が 6.5g で、6g は高血圧などの方の数値。

そこまで記載すると、内容としてわかりづらく、進めにくいアンケートになってしまうと感じる。

アンケート全体について

- ・紙媒体で見ると問の始まりがわかりづらいので、字を大きくして強調するなどしてわかりやすくしてほしい。
- ・高齢者は最後まで答えづらいところもあると感じるので配慮が必要だと思う。
- ・栄養士として、食育に対する市民の意識については大変興味がある。それらを参考にしながら、一緒に考えていきたいと思っている。

■新井委員：問 22（16 歳以上）について

- ・「4.ほとんど食べていない」という選択肢があるが、括弧をつけてその理由について聞くと、食べていない理由がわかるのではないか。

歯科・口腔の設問について

- ・入れ歯を利用している方も多いが、現在の設問には入れ歯に関しての内容が入っていないと感じるので、そこも含めた設問になっていると答えやすいと感じる。

小中学生対象調査の問 22-1 について

- ・たばこの身体への影響について、薬剤師などの講師を呼んで授業をしていると思うので、このアンケートの中でもそういった方が関わっているということも含めて、子どもが選びやすいようにしてはどうか。

■副会長：・健康増進計画は計画の対象が広くアンケートの対象者も多いので、このアンケートでしか聞けないことと他の計画や実施しているアンケートで聞いていることを精査して集約し、この計画の策定を行っていく必要があると思っている。

- ・16 歳以上の調査の問 6 は働き盛りの人をターゲットにするかどうかで、設問の聞き方も変わってくる。
- ・16 歳以上の調査の問 10 の主観的幸福感については、この設問は世界で共通して使用されているスケールであり比較のためには崩すことができないので、問 9 と問 10 を並べ方を変えて離すのはどうか。
- ・回収率については、集計結果をみるためには本来 800 人のデータがあると良いとされている。前回調査は 682 人であったが、他の計画等の回収率

を見ると回答をされている方だと感じる。母数を増やせばデータ数も増えるので、今回アンケートを実施して母数がどれぐらいほしいのかなどを予算や人材のことも含めて今後の計画に向けて立てていければ良いと思っている。

議題3. その他

次回の予定

第2回健康増進計画策定委員会を令和8年5月頃予定

以上